

事務連絡
令和8年3月19日

都道府県農業会議事務局長 殿

全国農業会議所
農業情報対策部長

ワンデスクシステムによる活動記録の集計に係る注意点等について（周知依頼）

当会議所の事業推進につきましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ワンデスクシステムにおいては、委員の変更に伴い、メールアドレスをそのままに推進委員・農業委員のアカウント情報（氏名・委員種別）を更新した場合、新旧の情報が混在し、正しい情報で各種様式を登録できない事象が確認されております。

ワンデスクシステムで活動記録を集計する場合は、下記の対応を講じていただきますよう、管内の農業委員会へご周知いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

また、令和8年度には多くの委員会が改選を控えていることから、複数アカウントを安定的に作成・運用可能な方法として、「推進委員・農業委員のアカウント作成マニュアル」を作成しましたので、併せてご周知のほどお願いいたします。

記

1. ワンデスクシステムによる活動記録の留意点

（1）アカウント情報を編集し同一メールアドレスを使いまわす運用による影響

年度途中に委員のアカウント情報を編集し使いまわした場合、別紙1の①～③のような該当委員の活動日数を正確に集計できない事象等が報告されております。

つきましては、令和7年度の集計に際し、活動記録が正しく集計されない場合、最適化活動管理：「活動記録簿の検索・修正（様式2）」の検索結果を「活動記録簿一覧 CSV ファイル」として出力し、改選前後の委員の活動を分けて集計し、各様式に反映するなどの対応をお願いします。なお、ご不明な点等はヘルプデスクにご相談ください。

（2）年度途中で委員が交代した場合の目標の入力方法

「委員の目標の入力（様式3）」は、同一アカウントの目標値を年度途中に変更することができません。そのため、改選等により年度途中で委員が交代し、委員の目標を新たに設定する場合には、新たにアカウントを作成し、改選後の委員の目標を別途入力する必要があります。

なお、改選前後の委員がそれぞれのアカウントで目標設定をし、「委員の点

検・評価（様式3）」を行った場合、ワンデスクシステムの「実績・評価（様式4、5）」の【推進委員等の点検・評価結果】の欄では、改選前後双方の委員の人数が表記されますが、当年度に在籍した委員の延べ人数となる仕様※で問題ありません。

※ 農水省の『ガイドライン様式・記載例（別紙2：令和7年4月時点）』では、該当欄の推進委員等の人数は、年度途中で改選等によって推進委員等が交代した場合、年度内に在籍していた全ての者について点検・評価を行い、結果を記載することを求めています。

（3）月当たり活動日数（平均）の算出方法

ワンデスクシステムで出力される別紙様式4の「推進委員等が最適化活動を行う日数」の「実績（日）」は、農業委員会全体の活動日数を12月で除した平均値が算出されていますが、月当たり活動日数の「目標」および「実績」は1人当たりを想定しています。様式4の報告の際には、「実績」についても1人当たりに修正していただく必要がありますが、改選年には平均活動日数の算出が複雑になります。

農水省は、最適化活動の点検・評価等において農業委員会が自ら計算を行う際には、各自の事情に応じて、要綱に反しない範囲で独自の判断で運用して差し支えないとの方針ですので、算出方法の一例として会議所案（別紙3）をお示しいたします。

（4）様式3「関係機関との打ち合わせの実施回数」の集計不具合について

ワンデスクシステムの最適化活動管理において「関係機関との打合せの実施回数」に回数が正しく集計されず、同月内に2回以上実施した場合でも1回と表示されてしまう不具合が判明しました。不具合を修正したプログラムのリリースを3月27日（金）の夜間に実施予定（3月28日（土）以降は正しい数値になる見込み）です。

3月27日以前に集計される場合は、以下の方法で正しい「関係機関との打合せの実施回数」を出力し手動で算出してください。

《登録された実績の確認方法》

最適化活動管理：「活動記録簿の検索・修正（様式2）」の2025年度の検索結果を出力したCSVファイルで、「項目_中項目」-「関係機関との打ち合わせ」として記録されている活動実績を確認し、委員別・月別に集計して様式3に転記する。

2. 推進委員・農業委員のアカウント作成

複数アカウントを安定的に作成・運用可能な方法として「エイリアスアドレス」を活用したアカウント作成を推奨いたします。具体的な作成方法については、別添のとおりマニュアルを作成しましたのでご参照ください。なお、本方法で作成したアカウントは「現地確認アプリ」でも利用可能であり、メールアドレス・パスワード・かんたんコードは共通となります。

なお、今回ご案内するエイリアスアドレスは Google (Gmail アドレス) の機能であり、これまで推奨してきた Outlook メールにもエイリアスアドレス機能はありますが、事前設定が必要なことや作成可能なアドレス数に制限があるため非推奨です (Outlook アカウントを複数作成する運用は妨げません。)

《送付文書》

1. 【別添】 推進委員・農業委員のアカウント作成マニュアル
2. 【別紙 1】 アカウント情報を編集し同一メールアドレスを使いまわす運用による影響
3. 【別紙 2】 ガイドラインの様式・記載例
4. 【別紙 3】 ワンデスクで活動記録を行う際の平均活動日数の考え方

以上

<本件についての問い合わせ先>

(一社) 全国農業会議所 農業情報対策部

農業委員会サポートシステム事務局

TEL 03-6910-1132 Mail koukaisystem@nca.or.jp